

令和7年度 第3回新居浜市地域公共交通活性化協議会 次 第

○日時 令和7年11月26日（水）13：30～

○場所 新居浜市役所 消防防災合同庁舎5階 災害対策室

1 開 会

2 協議事項

（1）川西地区デマンドタクシーの運行について

（2）新居浜市地域公共交通計画の進捗評価について

3 閉 会

川西地区デマンドタクシーの運行について

2025年 11月26日（水）

新居浜市役所 消防防災合同庁舎 災害対策室

前回会議の協議概要（令和7年8月27日第2回活性化協議会）



【委員意見】

- ・ **事業費が高い**と感じているが、**制度としては必要**であると思う。
- ・ 川西地区は、今は商業施設が近くにあり便利であるが、将来的には商店の閉店等で遠くへ買い物に行かなければならない状況が増えるかもしれない。
制度を一度止めると再開は難しいと思うため、制度を**継続すべき**である。
- ・ **バス停まで歩くこともままならない**、ワンステップやノンステップバスの一段も上がれないという方が**増えている**ため、デマンドタクシー制度は必要である。
- ・ デマンドタクシー利用者の多くは高齢者であり、**福祉的な意味合いが大きい制度**である。
一度制度を止めると再開は難しく、**利用者も増えている状況**であるため継続すべきである。
- ・ デマンドタクシーでの**主な行先は医療機関**となっており、川西地区においても事業継続が必要である。



新居地区旅客自動車協同組合で検討（11月末までに開催の次回協議会までに結論）

事業継続の場合・・・年内に国土交通大臣への運行許可申請

事業中止の場合・・・早期に事業中止の広報

【新居地区旅客自動車協同組合と市との事前協議結果】



- ・ 令和 8 年度以降も、新居地区旅客自動車協同組合が受託して事業継続
- ・ 年内に、新居地区旅客自動車協同組合内の運行事業者が、運行許可申請（道路運送法第 4 条）**を行う。**
- ・ 利用条件（受付方法、受付時間）は、**本格運行当初は現状のままとし、**
今後も**利便性向上（乗降ポイントの拡充など）**について引き続き協議を行う。

本編

変更箇所

57ページ

変更前（旧）

目標	事業No	事業名	評価指標	現況値 (令和4年度)		目標値 (令和10年度)
基本方針1：コンパクトなまちづくりを先導する公共交通網の機能分担の明確化						
《目標1》 効率的な公共交通網の形成	①	効率よく都市拠点へアクセスするバス路線網の見直し	①路線バス・デマ ンドタクシー・鉄 道の年間利用 者数	路線バス	247,346 人／年	359,864 人／年
				鉄道	1,405,980 人／年	1,571,690 人／年
	②	デマンドタクシーの維持・改善	②路線バス・デマ ンドタクシーの運 行収支差	デマンドタクシー	15,880 人／年	18,936 人／年
				路線バス（地域 間幹線系統補 助路線）	△239, 664 千円／年	△166, 581 千円／年
				デマンドタクシー （地域フィーダ ー系統補助区域）	△9,718 千円／年	令和4年度より改善

変更後（新）

目標	事業No	事業名	評価指標	現況値 (令和4年度)		目標値 (令和10年度)
基本方針1：コンパクトなまちづくりを先導する公共交通網の機能分担の明確化						
《目標1》 効率的な公共交通網の形成	①	効率よく都市拠点へアクセスするバス路線網の見直し	①路線バス・デマ ンドタクシー・鉄 道の年間利用 者数	路線バス	247,346 人／年	359,864 人／年
				鉄道	1,405,980 人／年	1,571,690 人／年
	②	デマンドタクシーの維持・改善	②路線バス・デマ ンドタクシーの運 行収支差	デマンドタクシー	15,880 人／年	18,936 人／年
				路線バス（地域 間幹線系統補 助路線）	△239, 664 千円／年	△166, 581 千円／年
				デマンドタクシー （地域フィーダ ー系統補助区域）	△9,718 千円／年	令和4年度より改善
				③デマンドタクシー 運行に係る財 政負担	デマンドタクシー （地域フィーダ ー系統補助区域） 19,855,040 円／ 年	令和4年度より改善

「デマンドタクシー運行に係る財政負担」の項目を追加しました。
以後評価指標の番号を1つずつ繰り下げています。

目標及び評価指標と令和6年度現況値について

目標	事業No	事業名	評価指標	現況値 (令和4年度)		(令和6年度)	目標値 (令和10年度)
基本方針 1：コンパクトなまちづくりを先導する公共交通網の機能分担の明確化							
《目標 1》 効率的な公共交通網の形成	①	効率よく都市拠点へアクセスするバス路線網の見直し	①路線バス・デマンドタクシー・鉄道の年間利用者数	路線バス	247,346人／年	292,183人／年	359,864人／年
				鉄道	1,405,980人／年	1,509,640人／年	1,571,690人／年
				デマンドタクシー	15,880人／年	18,781人／年	18,936人／年
	②	デマンドタクシーの維持・改善	②路線バス・デマンドタクシーの運行収支差	路線バス（地域間幹線系統補助路線）	△239,664千円／年	△244,571千円／年	△166,581千円／年
				デマンドタクシー（地域フィーダー系統補助区域）	△9,718千円／年	△10,549千円／年	令和4年度より改善
				③デマンドタクシー運行に係る財政負担（地域フィーダー系統補助区域）	19,855,040円／年	28,612,060円／年 （川西以外23,844,470円／年）	令和4年度より改善
	③	別子山地域バスの維持・改善	④別子山地域バス・渡海船の年間利用者数	別子山地域バス	4,053人／年	3,503人／年	6,533人／年
	④	渡海船の維持・改善		渡海船	83,712人／年	74,652人／年	88,955人／年
⑤	地域の輸送資源の活用検討	⑤日頃の移動のしやすさに対する満足度（％）（アンケート調査） （最終年度）	満足（14.6％）＋やや満足（22.0％）＝36.6％		令和6年度は実施なし	50％	
⑥	公共交通を補完する移動サービスの検討						
基本方針 2：3 軸間のネットワーク強化							
《目標 2》 だれもが使いやすい、移動しやすい公共交通の整備	⑦	快適なバス待ち環境の整備	⑥ベンチ等の設置されているバス停の数	25か所		25か所	令和4年度以上
	⑧	利便性を高めるバス情報の提供	⑦バスロケーションシステムの導入 （最終年度）	システム開発中		バスロケーションアプリ「LAC（らく）バス」がサービス開始	実装・運用
	⑨	バス停までのアクセス性を高めるサイクル&バスライド	⑧サイクル&バスライドに使われる駐輪スペースの数（最終年度）	0か所		0か所	1か所以上
	⑩	誰もが使いやすいバリアフリーに対応した車両の導入	⑨ノンステップバス車両数／バス会社（新居浜管理分）車両数×100（％）	26.9％		44％	40％
	⑪	バス路線間やバス路線・デマンドタクシー間の乗継を考慮した運賃制度の検討	⑩デマンドタクシー交通結節点利用者数（人）	2,853人		2,507人	3,282人
基本方針 3：利便性向上を目指したMaaS施策・IT技術の導入推進							
《目標 3》 新居浜型MaaSシステムの構築	⑫	市公式LINEによる交通情報の充実	⑪市公式LINE登録者数	令和5年3月末	24,137人	27,995人	毎年見直し （40,000人 （令和5年度））
	⑬	キャッシュレス決済の導入と地域ポイントとの連携	⑫アプリを用いたデマンドタクシー予約率	令和5年4月～11月末	3.5％	3.8％	10％
			⑬観光客数	令和4年1月～12月	1,523,187人	2,162,883人	2,635,659人
	⑭	MaaS車両等による新たな交通サービスの検討	⑭検討会を開催した回数	0回／年度		1回／年度	1回以上／年度
⑮	自動運転等新たな交通システムの検討						
基本方針 4：交通関係者全員参加の協働による公共交通の維持・支援							
《目標 4》 地域の共創による公共交通の構築	⑯	公共交通の利用促進活動の展開	⑮新たな交通協議体による協議回数	0回／年度		0回／年度	1回以上／年度
	⑰	自治体と交通事業者のエリア一括協定による交通利便性の向上を検討	⑯路線バス運行に係る財政負担	93,800,000円／年度		83,767,000円／年度	57,423,000円／年度
	⑱	公共交通維持に貢献する運転手確保支援	⑰バス・タクシー事業者のドライバー数	286人		271人	現況値維持
	⑲	地域主体で取り組む交通手段確保への支援					